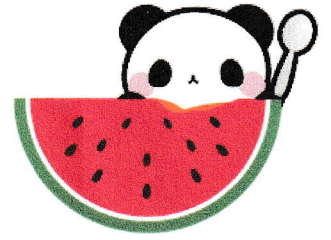




徳成寺 寺ともかわら版 第18号 2022年7月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

空梅雨も明けてしまい、いきなりの猛暑になりました。

我が家の猫もぐったりしています。私のお気に入りの本

「小さいことにくよくよするな」にこんな言葉があります。

「楽しんでいるとき、私たちはそれが永遠に続いたらと願う。でも

そうはならない。または苦痛を感じているとき、それが消えてくれたら

と願う一たったいま。だが、そうはならない。この自然な流れに逆らって

もがいた結果、不幸な思いが生じる。」と。この一幕もまた過ぎていくことを

心得よと勧めています。仏教は、自然な流れに逆らうことはもちろんなく、

さらに一歩進めて順境であろうと逆境であろうと、人の上に南無阿弥陀仏と

立ち現れるいのちに出会うかけがいのないチャンスとして頂きなさいと勧めて

いるようです。暑いですが、チャンスを逃さぬようにして参りたいものです。

発行責任者 -
住職
大山健児
坊主
大山ひとみ



大山超世の耳を澄ませば

お世話になっています、副住職です。ようやく値段が落ち着いてきましたが、先月は玉ねぎがめちゃくちゃ高かったです。玉ねぎの一大産地、北海道での猛暑による不作が価格高騰の一因と言われており、今年の異常な暑さの片鱗は既にあったのかもしれない。そして、この猛暑の中、電力不足が懸念されており、政府や電力会社が節電を呼びかけているという状況です。かわら版をご覧の方の中には節電に参加される方もおられると思いますが、エアコンをつけないようにする、みたいな極端なものはやめておいた方が賢明です。熱中症のリスクが伴う事に加え、万が一熱中症に罹った場合の治療費は平均して8万円程かかるからです。我慢してどうにかなる暑さではないので、室外機に日除けを取り付けたり、フィルターを掃除すると言った方法での節電をお勧めします。写真は御門徒の方から頂いた玉ねぎです。いつも助かっています。ありがとうございます。

